

# 早稲田のいぶき

環境美化分科会

## 早稲田みようがの 試験栽培に取り組んでいきます

### 江戸川小・早稲田小で

昨年2月に鶴巻小学校で始まった早稲田みようがの試験栽培は、今年4月9日に江戸川小学校、早稲田小学校でも実施しました。

早稲田小学校の校舎裏の藤棚の下には直射日光が当らず水はけの良いみようがの好む場所があり、前日そこに赤土を入れ替えてみようが畑の準備をしました。

5年生88名3クラスの体験授業として行ったみようが畑づくりには、生産農家の井之口さん親子が講師を受け持ちました。まず、みようがに適した肥料を入れ鍬や鋤でまんべんなく耕して畑を作ります。次に順序良く植えるために、実際に農家でやっているように長い紐を使って計測し位置を決めます。そして早稲田みようがの地下茎を並べて植え、土を被せ畑は完成しました。マーケットに売られているみようがと似ても似つかない地下茎を畑に埋めましたが、どのようにみようがが成るのか説明だけでは理解されそうにありません。今年は生長がよく茎も太く葉が大きく力強く伸びています。売られているみようがは、どこにできるのか、秋のお楽しみです。



肥料を  
撒いて畑作り

2



1

農地用の土に  
入れ替える



長い紐を使って  
植栽のための計測

3

4

地下茎を  
並べて植える

5

仕上げに  
土を被せて

# ガーデニング講座

5月29日

10数種類の花苗から選んでオリジナルの寄せ植えするこの講座も4回目、午前午後の二部制で25名の方が参加しました。

前回同様、新宿エコギャラリーでも寄せ植え講座をご担当の星野学先生を講師に迎え、夏に向けての花苗を御用意頂きました。今回は和花のリクエストもあり山アジサイ、ほたるブクロなどもありました。十数種類もあると皆さん悩まれるようで、先生に相談しながら、周りの方々と談笑しながら選んでいました。

好みのお花を組み合わせるとそれぞれに個性的な寄せ植えになり、お互いの出来栄に喜んでいました。



# 江戸川小学校 地域緑化

5月28日

5月31日の運動会の3日前、28日に1年生29名と先生5名で学校校庭の道路側フェンスに沿って花苗を植える体験授業を行いました。暑い中でしたが29名の児童一人ひとりは先生の注意を真剣に素直によく聞いて一人3株ずつ、仲良く並んで植えてくれました。3日後の運動会当日には来賓席から道路側にずらりと一列に咲き誇っている花々に「良い花ですね」「見事ですすね」と植えられたばかりの花の話があちこちから聞こえ、皆さんにも喜んで頂けたようです。

また江戸川小学校には近隣の住人で組織されているみどりのサポーターというボランティアの方々の日頃から手入れをして下さっており、今回も5名の方が子どもたちのバックアップに協力して下さいました。

なお、児童数が増えている江戸川小学校は今年12月1日に開校110周年を迎えます。



# 青パト出動中!

4月に鶴巻小、5月に早稲田小、6月に牛込仲之小と毎月1回管内4小学校を順繰りに青色パトロールカーを出動させ、低学年の下校時間の声掛け見守り青色パトロールを実施しています。

管内4校の小学校は交通量の多い道路に立地しており、通学時の交通安全には子どもも周りの大人も気を遣わないといけません。

友達との話に夢中になって、遊びながら下校する子の後ろ姿におまわりさんが大きな声で「道路に出ないように」と優しく注意しながら、遠ざかっていく子どもの後ろ姿を見守っていました。



気を付けてね  
牛込仲之小学校で



おまわりさんの  
大きな声が  
早稲田小で

## 榎ふれあいデー

〔5月3日 鯉のぼりつくり〕

5月はゴールデンウィークに重なっていつもより人出が少なかったのですが、参加者は鯉の型紙に自分だけの模様と色で一生懸命に描き上げ、ミニ鯉のぼりの出来栄えに満足そうでした。

またお天気も良かったので、お年寄りからお子さんまで楽しめるユニカールを一人でも多くの方に知って欲しいと、今回初めて榎ふれあいデーに持ち込みました。たくましいお父さんと子ども達が何回もチャレンジしていました。



〔6月7日 青空染め工房〕

地元の染色家工藤さんから指導を受けて開いている青空染め工房は、人気があり年々参加者は増加して今回は60名にもなりました。今年は趣向を凝らし自然の葉を使った型染めに挑戦してみました。

色々な葉に好きな色を塗り、生地に押しつけて葉の模様を写すのですが、白生地だけでなく、持参したTシャツに染めることもできました。

「こんなやり方は初体験です」思い出の一品の出来上がり、嬉しいです。「来て良かった」「今日は一番楽しい」「マイTシャツの出来上がり」などたいそう喜んで頂きました。

葉の型染めだけでなく、自分の手形を染める子どもも現れたり、夢中になって型押しをしてワイワイと賑やかに子どもから大人まで交流ができ、これぞ榎ふれあいデーと思いました。



## 第14回 歴史と文化のまち歩き

〔画家佐伯祐三と中村彝アトリエ記念館を中心とした落合地区散策〕

恒例の「歴史と文化のまち歩き」を6月7日（日）に行いました。午前10時10分に「佐伯祐三アトリエ記念館」に参加者が集合、おとめ山公園までの行程約2キロ、2時間30分の散策を行いました。

佐伯祐三アトリエ記念館では、ガイドボランティアの方から『下落合風景』12点のパネルで描画ポイントの説明があり、大正期中落合から下落合にかけ高級分譲住宅地として開発され、目白文化村と呼ばれたかつての風景と現在のまちの様子との見比べは興味深いものでありました。

記念館を後に、落合の住宅地内を迷いながら散策し、アダチ伝統木版画技術保存財団展示場を見学し、下落合の「土地の記憶」「まちの記憶」として保存・継承し、広く情報発信していくため整備された中村彝アトリエ記念館を訪れました。

当記念館は、彝が大正5年に建てたアトリエ兼住居を、当時の部材等も再利用して当時の姿に復元したもので、板張りの床や大きな北窓など当時を偲ばせるものでした。アトリエ内には、彝が使用したイーゼルや家具のレプリカを展示しているほか、パネルやビデオで、彝の生涯や画業、主な作品等が紹介されていました。

前庭は、楡の大樹をはじめ、彝が眺めた当時の風景がイメージされ、庭も見どころの一つでした。帰路には、旧「林泉園」沿いにあった桜の名残り

であり、地元の要請により保存された最後に残った老木を見、目白通りから旧近衛邸の車寄せに当時は二本あった大ケヤキを周回し、目白が丘教会を経て、おとめ山公園にて解散しました。

今回のまち歩きは、モダンな邸宅と豊かな木々、古くからの樹木や生垣、連続的なみどりがあふれている下落合台地の散策を通じ、まちなみ景観と「落合の森保全地区」として地域のまちづくりのスローガンとなっている「みどり」と共に、大正ロマンの雰囲気堪能しました。

◀中村彝アトリエ記念館



佐伯祐三アトリエ記念館▶

## 平成26年度 榎地区協議会まちづくり活動支援補助金精算書

| 補助事業名   | 事業内容      |   | 収入額(A)     | 支出額(B)     |
|---|-----------|---|------------|------------|
| 榎地区ふれあいまちづくり事業(榎地区の未来を考え、歴史・安全安心・環境・人とのふれあいに重点を置き、次世代に受け継ぐ事業) | 地域活性分科会   | 歴史と文化のまち歩き<br>コミュニティ講座<br>みどりのクラブ                   | 123,868円   | 58,503円    |
|   | 安全安心分科会   | 安全・安心出前授業<br>高齢者防犯講話会<br>少年非行防止講話会<br>安全・安心パトロールの実施 | 114,000円   | 76,898円    |
|   | 環境美化分科会   | 放置自転車追放・<br>ポイ捨て禁止キャンペーン<br>地域の景観美化事業               | 228,200円   | 221,779円   |
|   | 地域ふれあい分科会 | 榎ふれあいデー<br>榎ふれあいクッキング                               | 237,280円   | 197,629円   |
|   | 活動推進事業    | 広報紙発行<br>NPO活動交流事業                                  | 517,000円   | 516,858円   |
| 計   |           |   | 1,220,348円 | 1,071,667円 |
| 返還額(A-B)  |           |   | 148,681円   |            |

## 平成27年度 榎地区協議会まちづくり活動支援補助金予算書

| 補助事業名   | 事業内容      |  | 収入額        |
|---|-----------|--|------------|
| 榎地区ふれあいまちづくり事業(榎地区の未来を考え、歴史・安全安心・環境・人とのふれあいに重点を置き、次世代に受け継ぐ事業) | 地域活性分科会   | 歴史と文化のまち歩き<br>コミュニティ講座<br>みどりのクラブ                              | 146,960円   |
|   | 安全安心分科会   | 高齢者防犯講話会<br>交通安全教室<br>地域で守る子どもの安全講演会<br>児童の見守り活動               | 265,340円   |
|   | 環境美化分科会   | ガーデニング講座<br>放置自転車追放・ポイ捨て禁止キャンペーン<br>地域の景観美化事業<br>早稲田みようがプロジェクト | 341,000円   |
|   | 地域ふれあい分科会 | 榎ふれあいデー<br>榎ふれあいクッキング  | 218,792円   |
|   | 活動推進事業    | 広報紙発行  | 502,000円   |
| 計   |           |  | 1,474,092円 |

5月18日に榎地区協議会総会を行い、平成26年度活動報告・決算報告・監査報告及び平成27年度活動計画及び予算の各議案が承認されました。

●榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 榎地区協議会事務局(榎町特別出張所内)まで

TEL 03-3202-2461 FAX 03-3202-2476

〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 榎町特別出張所内 榎地区協議会事務局

<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/index.html>

お待ちしております

**公募委員**

おります